

さいたま市の庁内推進体制

「岩槻地区の都市機能強化」のための庁内推進体制の明確化（平成30年8月）

まちを俯瞰した進行管理は「都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部」が行う。 ⇒ 岩槻地区を「人形のまち岩槻」として全庁一丸となって推進していく。

平成30年度の活動

平成30年度も引き続き、岩槻まちの戦略会議（若手の商業者と人形組合員が意見を言う場）の運営による地域アイデンティティ（岩槻らしさ）の形成と、岩槻・人形文化サポーターズとの協働による人形文化の普及・伝承を目的として活動を行う。

1. 岩槻まちの戦略会議

平成29年度までの岩槻まちの戦略会議のディスカッションを踏まえて、「人形のまち岩槻」を歩いて楽しい街にするために、今年度の事業として、以下の事業を実施する予定。

① 岩槻ちよっと市の開催（節句文化）

昨年度実施した岩槻ちよっと市について、平成30年度も引き続き、イベント開催に合わせて実施していく予定。

- ・ 9月29日 重陽の節句：月見会（久伊豆神社キャンドルナイト）
- ・ 11月 3日 人形供養祭、鷹狩り行列（岩槻区役所から要請あり、調整中）
- ・ 3月 3日 上巳の節句：まちかど雛めぐり

② マップ作り

地域アイデンティティを形成する手段として、岩槻のまちの活性化の手段として、「今よりも元気だったころの岩槻」をテーマに、戦略会議メンバーの印象に残っている人形制作風景（首串の刺さった巻き藁）など、「人形のまち」としての写真やイラストを載せたマップの作成を進める。

③ 岩槻の昔を思い出させる街中写真館

どのお店に入ってもその周辺の昔の写真が見ることができ、写真を通して昔の岩槻を語り合えるような街中写真館を実現できないか、検討していく。

④ 岩槻人形博物館開館に向けた雑市の検討

平成32年の開館にあわせた雑市の開催について、検討していく。

2. NPO法人岩槻・人形文化サポーターズとの協働

人形文化の普及・伝承を目的として引き続き以下の活動を行っていく予定。

【五節句イベントの企画・運営】

主な取り組み：五節句の定着

五節句をユネスコに登録する動きがある。人形と密接に関連している節句の行事について岩槻には実績があり、「五節句のまち岩槻」にするために、事業展開し、一層の実績を重ねていく。事業案は以下のとおりである。

- ① 人日（じんじつ）：1月7日 七草の節句
 - ・クレセントモールで芋煮会のように七草粥をふるまう。
- ② 上巳（じょうし）：3月3日 桃の節句
 - ・全国に70以上ある雛めぐりの中で岩槻が最も古い。
- ③ 端午（たんご）：5月5日 菖蒲の節句
 - ・現状では人形店が主体。和菓子屋や料理屋とも関係が深い。
- ④ 七夕（たなばた）：7月7日 笹の節句
 - ・クレセントモールで短冊にお願いごとを書いてもらい、駅前広場に飾る。（吊るし飾りも加える）
- ⑤ 重陽（ちょうよう）：9月9日 菊の節句
 - ・岩槻では今回で4回目の開催。集客力が高まってきている。

① 5月5日：端午の節句イベント



② 8月11日：七夕の節句イベント

